



## ～ 教育アンケート自由記述【保護者】への回答 ～

校長 小木曾敏樹

学校教育アンケートに設けた「自由記述」欄にいただいたご意見に対し、校長として回答します。昨年の2倍以上の方が記入してくださり、本当にありがとうございました。今後の学校運営に活かしていきたいと思えます。

### 【保護者の自由記述に対する回答】

#### 【学年担任制について】

多感で大きく成長する大切なこの時期、より多くの大人（教師）との適切な関係が必要だと考えています。人間なので合うとか合わないということもあるでしょうが、それ以上に、一人の指導で一つの価値観に染まるのではなく、多くの人の多くの価値観から学んでほしいと思っています。常に複数教員で打ち合わせや情報交換をしなくてはならないこの学年担任制は、仕事が増え大変かもしれません。学級担任制の方が教師は楽であり、自分の学級は自分の指導で変わっていくので楽しいはず。しかし、生徒が担任の色に染まるのは、例えそれが良い方向であったとしても、ベストではないと考えます。生徒が自分で考え、選択し、決定していく、それがベストです。生徒が場面に応じて教師を選択することができるのは、良いことだと考えています。面倒かもしれませんが、生徒たちのために、保護者の皆様にもご理解いただきたいと考えます。 【検定】各種検定は学外での実施が基本になります。

#### 【生徒の主体性を大切にする教育について】

学校は楽しくなくてはいけない。そして、成長できる場でなくてはいけない。言われたことを言われたように行うような生徒たちであったなら、忍耐力はつくかもしれませんが、成長も楽しさもない。「創造」「自己表現」「感動」これらをキーワードにして学校運営をしています。これからも生徒たちの創造性・主体性を引き出していききたいと思えます。

#### 【苗木中だより、ホームページについて】

多くの方に見ていただき、感想をお寄せいただきありがとうございます。学校という空間は、実は見えにくく、思春期を迎えた生徒たちが暮らす中学校は、さらに見えにくくなるものです。保護者の方にも、地域の方にも、学校の可視化を図ること、学校の教育や生徒たちの様子を理解していただくことを目的に、自分なりに頑張っているところです。担任の業務はいろいろとあり、毎日時間外勤務が当たり前になっています。残業手当はありません。その負担を少なくするため、担任には、「通信は必要ない。ホームページと学校だよりで伝えるから」と言っています。ご理解いただきますようお願いいたします。毎月3万のアクセスをいただいています。1日1000回という計算です。ありがとうございます。

#### 【合唱祭について】

可能な限り、よりよい環境で実施していけるようにしていきます。



#### 【ダンスの取組みについて】

生徒たちがやると言ったらどんどんやっていきます。行事で踊るのではなく、もっと日常の中にDanceがあると、もっといいのになあ～と思っています。

#### 【プレ高校生みたいな絆や…について】

中学校は後期義務教育。生徒たちを適切な大人に成長させるための学校だと考えています。だから、大人な行動には大人な対応、大人扱いしていくべきだと思います。高校生並みの企画力や表現力、高校生よりも熱い苗木中生を目指しています（笑）

#### 【1年生の宿泊研修について】

「4月以外の期間で考えてもらうか日帰りでも」というご意見ですが、4月に行うことに意味があると考えています。今年の1年生も、この2日で踊りまくり、自分たちでアイデアを出しては協力し合い、新しいクラスを始動させました。見事でした。学校に慣れる、馴染むという期間を圧縮し、次の取組へとつなげていきたいと考えています。

#### 【自己表出ということについて】

「運動会の中間振り返りについて・・・いじめにつながるような話し合いはやめてほしいと思います。」とのご指摘でした。私たちが生徒たちに求めているのは、それぞれの想いを表出することです。何が悲しく、何が苦しく、何を目指して、何が嬉しく・・・そんな自己の想いを仲間にも伝え共有し共感し、相互理解を図るということです。苗木中生ができなかった、してこなかった苦手なことです。その力を付けたいのです。名指しの文句があったならば、それは幼い発言ですね。学年が成長途中であり、指導が足らなかったのだと思います。仲間を傷つけることのない、よりよい自己表出を指導できるよう、職員の研修を充実させます。

#### 【私物の持ち帰りについて】

中学生ですからねえ～。指導はしますが、その後は自己責任を問うことになるかと思っています。失敗しないように指導する場合と、失敗をしても仕方ない場合があると思います。これは失敗しても仕方ないことかなと思っています。

#### 【コミュニティースクールとの関係性について】

言葉はよく耳にされるかと思いますが、中身についてはよく分かりませんよね。どの学校にも、学校運営協議会という組織があり、地域の方々や保護者の代表と学校とが、地域と共にある学校づくり、つまりコミュニティースクールの実現に向けて、話し合ったり協力したりする組織です。苗木では小中学校で一つの組織にしています。夏のあんどん祭りの企画や体育大会前のグラウンドの草取りなども、その企画の1つです。

#### 【熊対応について】

今年は、苗木でも熊の目撃情報が多くありました。学校は必ず現場確認に行き、情報が新しいものならば、教職員を派遣して警戒に当たっています。1週間を目途にして、管理職を中心にして、下校前、下校中の見回りを実施しました。熊情報が学校に一番早く届くよう市にも交渉したところです。当たり前ですが、今後も生徒の命を第一に考え対応していきます。

#### 【授業について】

聞いているだけの授業を良しとはしていません。学んだことを自分の言葉でまとめたり発言したりして、表現することで、確かな学び、学びの定着を図っていきたくと考えています。苗木中生の特徴としては、授業では理解していても、その定着が弱い。家庭学習や復習の習慣化ができていないということが上げられます。年度初めなどに家庭学習の仕方を5教科の授業で行い、夏休み期間中には講座などを開講してはいるのですが、ゲーム、ネットといったデジタル画面視聴時間が多く、学習時間が確保できていないのが現状です。学校でも指導・啓発を行いますが、ご家庭でもよく話し合ってください、学習時間とデジタル画面視聴時間について約束などを決めていただけると良いのではないのでしょうか。また、家庭における読書時間も年々低下しています。学校では朝読書に取り組んでいますが、それが生活に位置づくまでには至っていません。家族で読書、そんな取組も有効かと思っています。